

**稲発酵粗飼料に適した飼料イネ用品種「西海飼253号」の栽培特性**

飼料イネ用品種「西海飼253号」は、麦跡等の普通期移植栽培・直播栽培およびたばこ跡等の晩期移植栽培のいずれでも糊熟期～黄熟期での稲発酵粗飼料としての収穫が可能である。「モーれつ」と比較して収量性は普通期移植栽培および直播栽培においては同程度であるが、晩期移植栽培においてはやや劣る。耐倒伏性は同等以上で、脱粒性は「難」である。

農業研究センター球磨農業研究所 (担当者: 金森伸彦)

## 研究のねらい

人吉球磨地域では、耕畜連携により約280haの稲発酵粗飼料用飼料イネが栽培されている。現在主力となっている飼料イネ用品種「モーれつ」は収量性、耐倒伏性に優れるが、極晩生のためたばこ後移植栽培における糊熟～黄熟期での収穫が困難で、また脱粒しやすいためサイレージ調整時の脱粒によるサイレージ品質の低下や漏生籾による雑草化が問題となっている。そこで、「モーれつ」に替わる飼料イネ用品種を選定し、その栽培特性を明らかにする。

## 研究の成果

1. 「西海飼253号」は、6月下旬移植、7月中旬移植のいずれでも糊熟～黄熟期での収穫が可能である。収量性は6月下旬移植では「モーれつ」と同程度であるが、7月中旬移植では「モーれつ」よりも劣る。耐倒伏性は「モーれつ」と同等以上である(表1)。
2. 「西海飼253号」は、湛水直播(6月中旬播種)、乾田直播(6月上旬播種)のいずれでも糊熟～黄熟期での収穫が可能である。収量性は「モーれつ」と同程度で、耐倒伏性は「モーれつ」と同等以上である(表2)。
3. 「西海飼253号」の脱粒性は「モーれつ」よりもあきらかに難である。

## 普及上の留意点

1. 「西海飼253号」は独立行政法人九州沖縄農業研究センターが育成した品種で、平成18年度に品種登録される予定である。
2. 「西海飼253号」は極晩生であるので、極端な晩植栽培および高冷地における稲発酵粗飼料用飼料イネとしての栽培には適さない。
3. 「西海飼253号」はいもち病および白葉枯病に対しては「モーれつ」ほど強くないので、常発地での栽培は避ける。
4. 「西海飼253号」はジャポニカ種(短粒)で千粒重も21～22g程度であり、玄米の外観は食用品種と変わらないので、食用品種への混入に注意する。

表1 「西海飼253号」の移植栽培における成績 (H16～17年平均)

移植期	品種	出穂期	収穫時の 生育ステージ	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (/m <sup>2</sup> )	乾物収量 (kg/a)	TDN収量 (kg/a)	倒伏程度 (1～5)
6.25	西海飼253号	9.10	黄熟期	96	21.6	333	165.9	87.6	0
	モーれつ	9.6	黄熟期	104	28.4	240	150.8	76.6	0.5
7.15	西海飼253号	9.18	糊熟～黄熟期	91	21.4	300	122.7	65.7	0
	モーれつ	9.26	乳熟期	96	28.0	237	144.5	73.3	0.3

(備考)

稚苗機械移植 (K社製乗用型5条田植機使用)

播種量 モーれつ110g/箱、西海飼253号170g/箱

a 当たり施肥量(kg) N:P:K=1.20:1.20:1.20 (LP-E80全量基肥)

乾物収量およびTDN収量は、出穂40日後に収穫したサンプルについて調査した。

表2 「西海飼253号」の直播栽培における成績 (湛水H16年、乾田不耕起H17年)

栽培法	品種	出穂期	収穫時の 生育ステージ	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (/m <sup>2</sup> )	乾物収量 (kg/a)	TDN収量 (kg/a)	倒伏程度 (1～5)
湛水	西海飼253号	9.18	糊熟～黄熟期	92	21.5	335	140.3	74.4	0
	モーれつ	9.12	黄熟期	92	26.8	263	126.4	65.7	1.0
乾田不耕起	西海飼253号	9.9	黄熟期	96	23.5	360	172.0	95.1	0
	モーれつ	9.10	黄熟期	99	28.1	390	182.0	95.4	0

(備考)

## ・湛水直播

6月11日播種 (Y社製歩行型6条播種機使用)

播種量 モーれつ0.2kg/a、西海飼253号0.3kg/a

a 当たり施肥量(kg) N:P:K=1.20:1.20:1.20 (LP-E80全量基肥)

乾物収量およびTDN収量は、出穂40日後に収穫したサンプルについて調査した。

## ・乾田不耕起直播

6月3日播種 (M社製トラクタけん引型6条播種機使用)

播種量 モーれつ0.3kg/a、西海飼253号0.5kg/a

a 当たり施肥量(kg) N:P:K=1.20:1.20:1.20 (LP-E80全量基肥)

乾物収量およびTDN収量は、出穂40日後に収穫したサンプルについて調査した。